

氏名： 高崎 みどり (TAKASAKI Midori)
所属： 人間文化創成科学研究科文化科学系
学位： 文学修士 / Master of Arts
職名： 教授
専門分野： 日本語 (現代語の文章・文体)
Japanese Linguistics (Discourse Analysis and Stylistics on Modern Japanese)
E-mail： takasaki.midori@ocha.ac.jp

◆研究キーワード / Keywords

日本語文章論 / 日本語会話分析 / 日本語の文章・文体 / ことばとジェンダー
Text analysis / Conversation analysis / Discourse and style / Japanese language and gender

◆主要業績

総数 (3) 件

- ・「分野別名著案内 小林英夫『文体論の建設』『日本語学 4 月臨時増刊号』26(4) (明治書院) pp.131-133
- ・「『女ことば』はこうして作られる 書評」『言語』36 (12) (大修館書店) p167
- ・「ジェンダー表象としての日本語—ことばの“女性性”の中味について」21 世紀 C O E プログラム ジェンダー研究のフロンティア 成果報告『文化表象を読む—ジェンダー研究の現在—』(お茶の水女子大学 21 世紀 C O E プログラム ジェンダー研究のフロンティア) pp.124-136

◆研究内容 / Research Pursuits

平成 19・20・21 年度の科学研究費補助金交付 (研究代表者) を受けた研究「言語行動としての広義引用表現の研究」について、談話収録、データベースの構築を行った。

また、日本語とジェンダーに関し、歴史的な日本語の諸現象がその捉え方において、ジェンダーに深く彩られていることについて考察を行った。

加えて、これまでの研究成果を授業に生かすべく、大学用の教科書 (文章・談話研究) の編集作業を行った。2008 年 4 月 24 日にひつじ書房より刊行された。

I made the sample collection of Japanese conversation to study the expression of variety of the quotations in the conversation under the support of Grant-in-Aid for Scientific Research for JFY 2007, 2008 and 2009 as the Principal Investigator.

I studied old Japanese language from the view point of the gender. I found the Japanese language was deeply influenced by gender.

I edited a textbook on the study of Japanese discourse analysis.

◆教育内容 / Educational Pursuits

【学部教育】

日本語構造論概論、日本語構造論特殊研究、日本語構造論演習、基礎ゼミ、コア日本語論の授業を行った。また日本語学をテーマとする卒業論文作成の指導を4名のゼミ生に対して行った。

【大学院教育】

日本語表現分析論および演習を修士課程および博士課程の学生に対して行った。日本語学を研究テーマとする修士論文作成の指導を1名、博士論文の副査を3名に対して行った。また、指導にあたっている留学生の出身国は4カ国（タイ・台湾・韓国・ロシア）におよび、それぞれ日本語と母語との対照言語学的な研究を行っている。

なお、指導中の博士課程の学生1名は、財団法人博報児童教育振興会より、第2回「博報『ことばと文化・教育』研究助成」を受けた。

【その他】

附属高校の連携授業において「小説の文体」について講義を行った。

【Under graduate Course】

- Introduction to studies in Japanese language
- Introductory seminar
- Seminar of Japanese text/discourse analysis
- Lecture on Japanese idiolect and literary pragmatics

【Graduate Course】

- Methodology of study of text/discourse analysis
- Seminar of theory of text/discourse analysis

◆研究計画

【将来の研究計画・研究の展望】

科学研究費による研究「言語行動としての広義引用表現の研究」について分析を深める。また、学部生向けの文章・談話の教科書の作成に引き続き、卒論学生・大学院生向けにより専門的な事項を取り上げ詳説したガイドブックを作成中。

【共同研究可能テーマ】

- テーマ…メディア間のインターテクスチュアリティ (inter textuality) について
- 研究例
 - ① 絵画・音楽・映画・文学等のテキスト間相互参照性について
 - ② 日本語教育の教材における日本語文学作品の引用およびその扱い方について
 - ③ 日本語漫画の翻訳における日本語原語の保存と翻訳、外国語文脈における日本語漫画について
 - ④ 引用と著作権について

◆メッセージ

日本語のなりたちや、日常会話の分析的研究、文章・談話・文体に興味のある方は、是非受験をなさってください。